



未来へ向かってシュート！

7月6日 AKBサッカー

びほろスポーツクラブBeet主催の「AKB(アクティブ・キッズ・ビート) スポーツチャレンジプログラム」の中からサッカーを体験。子どもたちは晴天の下、ドリブルやミニゲームをして楽しみました。

びほろ町
ぎがい

6月定例会のあらまし

- ▶ 行政報告など 2P
- ▶ 人事案件・条例改正など 3P
- ▶ 補正予算・意見書など 4P

こんなことを聞きました

- 一般質問 9人登壇 4P

町民に見える議会活動を目指して

- ▶ 議員カフェを開催しました 14P

先進事例を調査しました

総務福祉常任委員会

- ▶ 認知症対策・障がい者雇用など 14P

経済教育常任委員会

- ▶ 外国人労働者の受入れと多文化共生など ... 15P

政務活動費収支状況をお知らせします

- ▶ 議員別使途状況を公開 16P

No.253 令和6年8月1日

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。



会期を10日間と決定

6月定例会は、平野町長が体調不良により本会議への出席が見通せない状況となったことから、6月17日、議会運営委員会において協議した結果、会期を10日間とし、1日目は議案審議、9日目及び10日目に一般質問を行う議事日程となりました。

6月定例会のあらまし

18日 会期を10日間と決定し、副町長から行政報告を受け、その後、議案審議に入り、専決処分の承認5件（税条例の改正、介護予防・生活支援条例の改正、一般会計補正予算（第16号）、国民健康保険特別会計補正予算（第5号）、介護保険特別会計補正予算（第4号）、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、動産の取得1件（グランドケトル）、工事請負契約の締結4件（第Ⅳ期埋立処分場造成工事、第Ⅳ期埋立処分場浸出水処理施設建設工事、旭団地1号棟外壁等改修工事、スキー場照明LED交換修繕）、過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定、条例改正3件（番号法施行条例の改正、税条例の改正、交流促進センター条例の改正）、補正予算案（一般会計）を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

19、20、21日 議決休会としました。

24、25日 議決休会としました。

26日 議員5名（藤原・松浦・馬場・大原・宮崎）が一般質問に登壇し、LGBTQ、農業政策、熱中症対策、峠の湯びほろ、子育て支援などについて活発な議論が交わされました。

27日 議員4名（木村・横山・大江・稲垣）が一般質問に登壇し、町長の政治姿勢、美幌町の将来、国保税子ども均等割、街路樹景観などについて活発な議論が交わされました。次いで、7件の意見書案を可決し、6件の報告を受け、議員の派遣及び各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認して、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

職員の人事異動の発令

去る4月1日、職員の人事異動の発令を行いました。今回の異動につきましては、職員の行政能力の向上を図るため、文部科学省及び北海道庁へそれぞれ職員1名を派遣したほか、脱炭素対策及び廃棄物処理施設整備事業等の推進を図るため、環境管理課に主幹職を配置、子育て支援の充実を図るため、社会福祉課子育て支援センターグループに主査職1名を増員、1市5町の廃棄物処理広域化の事務処理に伴う「斜網地区廃棄物処理広域化推進協議会」への職員派遣のため、環境管理課環境衛生グループに主査職1名を配置しました。

また、各部局の政策立案をサポートする体制を整えるため、「政策課」の課名を「政策推進課」に、森林政策部門の重点化を図るため、「耕地林務主幹」及び「耕地林務グループ」の名称を「森林農地整備主幹」及び「森林農地整備グループ」に変更しました。

さらに、退職者の補充、長期在任者の配置替え、北海道との職員交流に伴う職員の配置、新規採用職員の発令を行った結果、全体で72名の人事異動となったところであります。

こんなことを決めました

人 事 案 件

任命、選任の同意をしました。

■ 教育委員会委員

とう かい まさ ひろ
東海 政博 氏(再)
令和6年9月1日から
令和10年8月31日まで(4年間)

■ 固定資産評価審査委員会委員

い とう けん いち
伊藤 健一 氏(再)
令和6年6月28日から
令和9年6月27日まで(3年間)

しろ ひろ ゆき
城 裕幸 氏(新)
令和6年6月18日から
令和7年3月25日まで(前任者の残任期間)

動 産 の 取 得

原案どおり可決しました。

■ グランドケトル(蒸気式攪拌装置付全自動煮炊機)学校給食センターに設置

1,178万1,000円



工事請負契約の締結

すべて原案どおり可決しました。

■ 第Ⅳ期埋立処分場造成工事

5億600万円

■ 第Ⅳ期埋立処分場浸出水処理施設建設工事

13億1,780万円



埋立処分場

■ 旭団地1号棟
外壁工事等
改修工事

4,983万円



旭団地

■ スキー場照明
LED交換修繕

5,311万9,000円



リリー山スキー場

条 例 改 正

すべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■ 番号法に関する条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、条例で引用している条項の整備等、所要の改正を行うもの(施行日/公布の日)

■ 美幌町税条例の一部改正

公益信託制度改革による地方税法の改正に伴い、所要の税条例の改正を行うもの(施工日/公益信託に関する法律の施行の日の属する年の翌年の1月1日及び令和7年4月1日)

■ 美幌町交流促進センター条例の一部改正

多目的ホールをRVパーク及びテント泊利用者用の休憩スペースとして改修することから、多目的ホールの料金項目を削除することとし、別表を整理しようとするもの(施行日/令和6年7月1日)

計 画 策 定 ・ 変 更

すべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■ 過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更

令和3年9月に策定した市町村計画について、令和6年度に実施する一部の事業が未登載であることから、一部を変更するもの(内容/町道整備事業、歩道整備事業、五月橋長寿命化事業)

■ 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、福住・豊富・豊岡辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定するもの(内容/個別排水処理施設、スクールバス、タイヤショベル)

こんなことを決めました

専決処分の承認

■ 美幌町税条例の一部改正

地方税法の一部改正(国民健康保険税課税限度額及び軽減措置の改正、個人住民税特別税額控除に関する規定の新設)に伴い、令和6年度の町税課税を行うため急を要し専決処分したことを承認しました。
(施行日／令和6年4月1日)

■ 美幌町介護予防・生活支援事業条例の一部改正

介護保険法の介護報酬基準改定に伴い、令和6年度のサービス利用者からの手数料徴収のため急を要し専決処分したことを承認しました。
(施行日／令和6年4月1日及び6月1日)

■ 令和5年度美幌町一般会計補正予算(第16号)

補正額…▲2億5,986万7千円 補正後の総額…129億9,747万6千円
繰越明許費の確定に伴う会計処理等のため急を要し専決処分したことを承認しました。

■ 令和5年度美幌町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

補正額…▲2億7,218万1千円 補正後の総額…24億2,434万9千円
療養給付費の確定に伴う会計処理等のため急を要し専決処分したことを承認しました。

■ 令和5年度美幌町介護保険特別会計補正予算(第4号)

補正額…▲2億3,977万9千円 補正後の総額…20億3,589万6千円
介護サービス給付費の確定に伴う会計処理等のため急を要し専決処分したことを承認しました。

補正予算

原案どおり可決しました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

■ 令和6年度美幌町一般会計補正予算(第1号)

補正額 ……10億1,027万7千円

補正後の総額 ……138億7,465万3千円

- ・持続的畑作生産体系確立緊急支援事業等の実施に伴う ……5億6,704万1千円
農林水産省の間接補助
- ・トレーニングセンター等耐震改修工事ほか関連経費 ……2億1,169万2千円
- ・給付金・定額減税一体支援枠給付事業 ……1億7,931万2千円



トレーニングセンター

の増額など

7件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和6年6月定例会では、7件の意見書の提出を求める陳情のうち、7件の意見書案を可決し、国などの関係機関へ提出しました。

- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書【提出先】内閣総理大臣 外
- 物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引き上げを求める意見書 ……【提出先】内閣総理大臣 外
- 厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書 ……【提出先】内閣総理大臣 外
- 2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書 ……【提出先】北海道労働局長
- 地方財政の充実・強化に関する意見書 ……【提出先】内閣総理大臣 外
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など ……【提出先】内閣総理大臣 外
教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直しすべての ……【提出先】北海道知事 外
子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

- 横山 清美 議員…12頁
②職員の仕事しやすい環境づくり
- ①美幌町の将来
- 木村 利昭 議員…11頁
①町長の政治姿勢と行政運営
- 宮崎奈津江 議員…10頁
①子育て支援
- 大原 昇 議員…9頁
①峠の湯びほろ
②リリー山の活用
- 馬場 博美 議員…8頁
①デジタル社会の実現に向けて
②熱中症対策
③地域活性化
- 松浦 和浩 議員…7頁
①農業政策
- 藤原 公一 議員…6頁
①LGBTQ
②軟骨伝導イヤホンの導入
③子どもの安全・安心

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関(町や教育委員会など)に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中であって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

- 稲垣 淳一 議員…14頁
①街路樹における景観
- 大江 道男 議員…13頁
①国保税子ども均等割
②峠の湯びほろ

一般質問には9人が登壇

質問者と質問項目

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆ 藤原 公一 議員
ふじわら こういち

LGBTQ

問 パートナーシップ宣誓制度の導入は

答 本年度中の導入を目指したい

問 LGBTQとは、

性的マイノリティ(性的少数者)の総称で、性的指向や心の性の英語表記の頭文字をとって組み合わせた言葉である。本年4月より網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町の1市4町でパートナーシップ宣誓制度を開始し、北見市に次いでオホーツク管内近隣自治体同士が対象者や条件を統一して導入し

ている。どの自治体でも届出が可能となり、手続きも円滑に進められるのが特徴である。美幌町におけるパートナーシップ宣誓制度の導入は。

答 現在、LGBTQの方々が安心して暮らせる町の実現に向け、パートナーシップ制度の導入に向けた準備を進めている。町民の皆さまの理解を深めつつ制度の内容や運用方針等について検討のうえ、本年度中の導入を目指し進めてまいりたい。

制服選択制の導入は

問 LGBTQなど

心が多感な子どもに對しては、男子は学生服、女子はセーラー服という固定観念が心の負担になっていると思われる。性の多様化などに配慮し、女子でもスラックス、男子でもキュロットなど制服の選択制を導入することで、性的指向への違和感がなくなるよう土台を作ってあげべきである。美幌町における制服選択制の導入は。

答 本町では、小学校は自由な服装、中学校は学生服またはセーラー服を指定し

ており、性別に関係なく制服を選択できる状況にある。制服は求められている役割・価値観が多様化している中で、選択に当たっては生徒や保護者の思いを尊重すべきものと考え

るが、性の多様化などに配慮したジェンダーレス制服の導入は学校現場と協議した中で検討したい。

軟骨伝導イヤホン

導入の考えは

問 高齢者や難聴者が円滑なコミュニケーションがとれるよう公共施設の窓口に軟骨伝導イヤホンを導入しては。

答 他の自治体や公的機関での設置例もあることから、有効性を調査し導入を検討してまいりたい。

子どもの安全・安心

アプリの活用は

問 教育現場においてタブレット端末を自宅に持ち帰った時の管理まで教員に求めることは難しい。

子どもに安心してスマートフォンを所持させ、様々な危険から守るうえでペアレンタルコントロールアプリ「コドモモ」は有効と考えるが「コドモモ」を周知する考えは。

答 子どものスマートフォン所持は各家庭の判断によるため、コドモモアプリを含めた被害の未然防止策をマチコミメールや学級通信などを通じて、子どもと保護者に周知し啓発を図ることが何よりも大切であると考え

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆ 松浦 和浩 議員
まつうら かずひろ

農業政策

問 将来の農道整備に関する町長の考えは

答 地元関係者と協議を行い、事業実施の必要性、財政負担の検討を含めて進めたい

いつごろか。また、町の事業負担は大きいと思うが、将来の農道整備に関する町長の考えは。

答 事業採択時期は区画整理を含めた稲都福第2地区全体の事業計画が令和6年度から令和7年度の2か年で整えられる予定であり、採択は最短で令和8年度となる見込みである。

農道改良の事業規模は概算工事額で6億9千万円を見込んでおり、道路延長は都橋町道第833号が1113メートル、第543号が549メートル、豊富町道第32号が1250メ

ートル、合計2912メートルを予定している。負担割合は国55%、北海道28%、町17%となっている。将来にわたる農村地区町道整備の考え方として、これまでどおり地元関係者と十分に協議を行い、事業実施の必要性、財政負担に対する長期的な検討を含めて進めてまいりたい。

畑地干ばつ事業

リールマシンの価格は

問 畑かん事業として網走川西地区の玉

ねぎ生産者は、北海道との地区活性化懇談会において将来構想を模索してから18

年目となる本年、水利施設の供用が開始された。地域にとって喜ばしく、美幌町の農業政策の成果であると思うが、リールマシン整備は令和7年になると聞いている。リールマシンはドイツ・パウアー社からの導入方法しなく、円安・物価高騰により当初800万円程度から1800万円と価格が著しく上昇していると聞きしている。北海道農政部はこの対策にしっかりと取り組んでいることは承知しているが、現在の価格状況は。また、価格高騰対策に対する町長の考えは。

答 中央美和地区で令和8年度に通水の完了を予定していることから、令和8年

3月までに32戸の生産者がリールマシン35台の導入を予定している。価格は現在、円安・物価高騰の影響で1台2千万円程度となっている。農家負担は事業費の7・5%となっており、道営土地改良事業のほか国の農業経営高度化促進事業等を活用することで農家の負担軽減となっているが、リールマシン1台を導入する農家負担は150万円程度になる見込みと伺っている。農業者が必要な生産基盤整備に積極的に取り組めるよう、国や北海道の事業の継続、補助率の拡大について、関係機関と連携を図りながら要望してまいりたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆ 馬場 博美 議員

熱中症対策

問 暑さからの避難場所の設置は

答 しやきつとプラザ、町民会館、図書館に町内
大型スーパー3施設の設置を予定している

問 民間施設を含め
た今年度のクーリ
ングシエーター設置の
具体的対応やエア
コンを設置してい
ない
公共施設の今後の計
画は。

答 さらなる厳しい
暑さが予想されるた
め、公共施設（し
ゃきつとプラザ・町民
会館・図書館）の他
に民間施設（町内に
おける大型スーパ
ー3施設）のご協力を
得ながら7月1日よ

デジタル社会の実現

DXの取組は



り設置することで進
めている。今後、詳細
を詰めたうえ広報等
により町民に周知を
図ってまいりたい。
公共施設については
令和6年度でエア
コンの整備完了を予定
している。

問 DX（デジタル
・トランスフォーメ
ーション）の推進に
向けて具体的な取組
状況は。

答 「人工知能AI
活用」について、今
年度は生成AIの導
入を準備しており、

文書作成やアイディ

ア出し等クリエイティ

ィブな業務に対し、

幅広く活用していく。

「キャッシュレス決

済の導入」について

は、現在、水道料、保

育料、介護保険料、

後期高齢者医療保険

料、公住使用料、固

定資産税、町道民税、

軽自動車税及び国民

健康保険税のコンビ

ニ対応納付書のバー

コード読み取りによ

りスマホ決済が可能

となつている。他の

公金の支払も国から

税と同じ納入システ

ムを導入する方針が

示されており、動向

を注視したい。

「母子健康手帳のデ

ジタル化」について
は、令和8年度には
電子版母子手帳の普
及が原則化されるこ
とから導入に向け現
在検討中である。

「証明書のコンビニ
交付」については、
国のデジタル田園都

市国家構想交付金を
活用し、令和7年度

内の運用開始に向け
準備している。

「公共施設・各種参
加の申込等のオンラ
イン活用」について

は、貸館機能を持つ
施設等において検討

するとともに、講演
やイベント等への参

加にかかる予約も研
究してまいりたい。

「書かないワンス
トップ窓口の導入」に

ついては、マイナ
ンバーカードや運転免

許証などを利用し申
請書への記載が簡便

になるシステムを本
年秋頃に導入するこ
とで準備している。

地域おこし協力隊

積極的な活用を

問 美幌町において
地域おこし協力隊を
もつと積極的に活用
すべきでは。

答 活用にあたつて
は協力隊のミッシ
ョンをどのように設定
するか、また、任期
満了後の定着を見据
えたものとなってい
るかが重要と考えて
いる。行政課題や地
域で不足している分
野に対し定着率を意
識したうえで人材を
確保するため、地域
のニーズを把握する
とともに、行政とし
て協力隊をサポート
する体制を構築しな
がら積極的に制度を
活用したい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆大原昇議員
（おおはら しょう）

峠の湯びほろ

問 宿泊施設整備の協議は行われたか

答 多額の費用をかけて改修し
宿泊機能を附帯することは難しい

問 昨年の6月定例会において「峠の湯を改修し宿泊施設をつくる考えはあるか」と一般質問した際、町長は「峠の湯として一番いいのは、泊まれるスペースをつくれないだろうか。今後、いろいろなことをスタッフとも協議をしていきたい」と答弁されたが、今年度、宿泊施設に係る予算は計上されておらず、RVパーク

利用者のための施設改修のみである。役場内部及び現在の指定管理者と宿泊施設整備をはじめ、業務委託の継続について協議は行われたのか。

答 宿泊機能の附帯は以前より検討しており、役場内や指定管理者とも協議を重ね「宿泊できるスペースがあつたらいい」という思いがある一方で、スタッフの確保や施設の構造上多くの課題があることや、昨年12月にビジネスホテルがオープンしたこと、多額の費用をかけて現状の施設を改修し宿泊機能を附帯するこ



峠の湯びほろ

とは難しいと判断している。指定期間満了後の業務継続について、指定管理者と具体的な協議は行っていないが、施設利用状況や維持管理状況に関しては定期的な実務者間で打合せを行い情報共有に努めており、内部でも有している。今後も関係者間で協議し住民サービスの維持・向上及び利用者確保並びに安定的な施設運営に努めたい。

リリー山の活用

スキー授業の問合せは

問 北見市端野町にあるノーザンアークリゾートスキー場が

今年の3月末をもって営業を終了したとの報道があつた。このことにより他市町の学校からリリー山スキー場の利用について問合せがあるのか。また、他市町の学校の利用が決まった場合、美幌町の学校のスキー授業、スキー教室、スキー大会、自衛隊の訓練等に影響はないのか。

答 スキー場が設置されている関係市より1校分の児童の利用について問合せがあり、利用可能である旨をお答えしている。また、他市町の学校利用が決まった場合の影響について

は、スキー授業の利用は1日の最大利用者数を考慮したうえでオープン前に各学校と調整を図りながら日程を決めているため、昨年度の実績を勘案すると、新規の学校数が若干増えた場合でも対応は可能であると考えている。教室及び大会の影響については、開催が夜間もしくは土日に集中していることから、学校授業とは重複せず影響は少ないものと考えている。自衛隊訓練の影響については、美幌駐屯地とは事前に訓練使用に関する協定を結んでおり、訓練の際は予め利用状況を確認したうえで申込を受けているので、影響はほとんどないと考えている。

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆宮崎 奈津江 議員
みやざき なつえ

子育て支援

問 保育園の具体的な方向性は

答 今後のあり方について年度内に方向性を定めたい

問 美幌町の出生数が70人を割る中、町にある5園すべてが定員に満たず各園は運営に苦慮されている。町所有で民間保育園として使用している建物は60年を経過し、老朽化や限られた敷地にも関わらず公立保育園を上回る園児数があり、利用者へのニーズに柔軟に対応している。しかし、民間保育園は職員の高齢化や施設

整備の計画がない中、町立保育園や認定こども園の動向を見ながら毎年経営を継続されている状況にある。認定こども園や民間保育園及び保育園関係者は不安を抱いているが、町の具体的な方向性は。

答 町では「第2期美幌町子ども・子育て支援事業計画」を策定し出生数等を推計していたが、推計値を大幅に下回る出生数となったところ。今年度は「第3期美幌町子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、人口推計やニーズ調査を進めており、その結果を

踏まえ、引き続き民間事業者と協議を進めながら今後のあり方について年度内に方向性を定めたい。

問 町内の認定こども園でも保育士の確保ができないため、低年齢児の定員数を受け入れることができず、運営に影響が出ている。美幌町で保育士になった方がずっと働いていただけるような仕組みづくりが必要だが、保育士確保の対策は。

答 「国では、令和4年2月から保育士の処遇改善として、収入の3%（月額9千円）を引き上げる

事業を同年9月まで実施し、10月以降は国2分の1、道4分の1、町4分の1の負担により同様の措置を継続している。認可外保育施設は同じく令和4年2月から町単独事業として1人あたり月額9千円の支援を実施しており、今後も保育士の処遇改善に努めた。また、保育支援者の配置支援等、国の補助金を活用し、保育士がやりがいを持って働ける環境づくりや負担軽減に取り組み、保育士の確保につなげたい。

問 私が子育てや仕事を通じて得た経験の中で最も注意していることは「乳幼児期」である。豊かな人間関係をつくるた

めの基礎として一番大事なものは乳幼児期であり、建物で言えば基礎工事の時期で、修復ややり直しが難しい時期とされている。乳幼児期の重要性や町として取り組むべき施策は。

答 町では、保育園等に通園していない乳幼児も家庭とは異なる経験や家族以外の大人と関わる機会を提供するため一時預かり事業を拡充し、乳幼児期の育ちを応援するとともに、保護者のリフレッシュを図る等、子育ての負担軽減を進めている。乳幼児期は豊かな感性を養ううえで最も大切な時期であるとの考えのもと、今後も子育て支援の施策を進めたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆ 木村 利昭 議員
きむら としあき

町長の政治姿勢

問 行政組織の意思決定の流れは

答 三役と部局長等で構成する政策会議に諮り
意思決定を行っている

問 令和5年9月定例会において『若手世代が住み続けたいと思えるまちづくりについて』一般質問を行い、また、令和6年3月定例会においても『生産年齢人口の移住定住対策について』一般質問を行い、議論や答弁を受けたが、美幌町の行政は「チャレンジ力」が低く「できないことへの見切りが早い」と強く感じた。

たとえ解決が困難なことでも「本当に突破口はないのか」調査研究し、強い思いを持ってチャレンジする熱意がリーダーには最も大切であると考えます。答弁を聞いて感じた私の気持ちを端的に申し上げると「このまま進めたら一気に衰退していくことはやむを得ない」と受け止めているように感じました。失敗を反省し、それを生かして次につなげていくことが成功への唯一の道である。新たなことに立ち向かうことのできる機動性をもった行政運営、そして、町民が一丸

となつて美幌町の課題解決・まちづくりに取り組んで行くための検討をどのように行っているかを踏まえ「行政組織の意思決定の流れ」と「三役と部長職の役割分担」を伺いたい。

答 私は美幌町行政の最高責任者として、少なくとも失敗することを前提もしくはそのリスクが高いものについて挑戦することは適当ではなく、また、町民の皆さまに説明できる施策を展開する「責任」があると考えています。町が抱える課題や問題に対し新たに施策を展開すべきものに

ついて、確実に成功させるための背景・状況・機会・条件等が揃ったときに可能な限り迅速に打ち出す姿勢で臨んでいる。行政運営は私だけではなくすべての職員が「町民皆さまの生活を支え、かつ、未来をつなぎ、持続可能な町政を実現すること」を基本に業務にあたっている。私はそのリーダーとして政治的公約や、今この瞬間に必要な施策等について、時に指示し、時に職員からの提案に対して判断する役割を担っている。私だけではなくすべての職員が衰退していくことをやむを得ないと悲観的に捉えてはおらず、各種データや分析結果を冷静に判断し、

未来の美幌のための政策や方向性を打ち出している。

意思決定には大小様々なものがあり、美幌町文書取扱規程に基づき副町長、部長、課長等にそれぞれ専決権が付与されているが、町の重要施策に係るものは方向性の確認等を担当各部の職員と私とで行った後、三役と部局長、総務課長及び財務課長で構成する政策会議（庁内会議）に諮り意思決定を行っている。また、毎年2回程度、三役と各部長職とで個別に執行状況の確認と指示、各部長からは相談や確認を行う機会を設け、方向性の認識を統一している。

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



美幌町の将来

答

町民の満足度を上げる町政運営を行うことに
変わりがないと考えている

問

人口戦略会議の分析結果をどのように受け止めたのか

◆横山 清美 議員



問 「人口戦略会議」

は2020年から2050年までの30年間で20歳から39歳の女性が半減する自治体が全国の40%超に当たる744自治体あり「消滅の可能性がある」との分析を公表した。道内では全体の65%超に当たる117市町村が対象となり、美幌町も対象となっている。人口減少は社会のあらゆる分野に多大な

影響を及ぼし、克服には長い時間が必要である。今回の分析結果をどのように受け止めたのか。また今後の対応は。

答 向き合っていないかなければならない課題と受け止める一方、

2050年の美幌町の総人口の予測は9819人と管内の町では遠軽に次ぎ2番目に人口を有しており、美幌町に住む町民の満足度を上げる町政運営を行うことには変わりがなく、15歳から19歳の女性における5年後の減少率が高く、進学や就職によって美幌町を転

出する割合が多いことが推測される。女性

の働く場所や働きやすい環境を整備し、UIJターンによる就業の推進や子育て環境の充実を図る等、官民一体となつて対策を講じることが必要である。

職員の働きやすい環境づくり

週休3日制の導入は

問 全国の自治体で

「週休3日制」の選択ができる制度を試行・導入する動きがある。1日の勤務時間を延ばすことで平日に休みを取ることができる。様々なライフスタイルを実現

するための柔軟な働き方として、人材確保にもつながるのである。

答 導入にあたっては部署や職員間にな

るべく業務に偏りが生じないように配慮し、各自治体の規模や実態に合わせた運用方法の調整が必要になることから、道内での先行事例等、引き続き情報収集に努めながら、新たな働き方の選択肢として検討したい。

ナチュラル・ビズ・スタイルの導入は

問 「美幌町地球温暖化対策実行計画」

において、働きやすい服装（クールビズ・ウォームビズ）を推進することとしており「北海道美幌町ゼロカーボンシティ宣言」を表明してい

る。その実現に向け、職員の意識醸成や働きやすく、活力ある職場環境づくりの環境として、年間を通じたナチュラル・ビズ・スタイルの導入は。

答 令和5年度に「美幌町地球温暖化防止

実行計画（事務事業編）」を策定し、公共施設における温暖化防止対策に関する行動計画を示しており、職員の服装は過度に空調に頼らないものと明記している。地球温暖化対策の更なる推進や職員の働きやすい環境づくりのため、それぞれの職員がTPOを意識した中で、年間を通じた軽装化を実施したい。



各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆ 大江 道男 議員
おえ みちお

国 保 税

問 子ども均等割を廃止する意思表示を

答 現行制度の拡充等、町村会を通じて要望を行いたい

問 厚生労働省は、令和5年10月18日に保険料水準統一加速化プランを策定し、国保税水準の都道府県単位化を進めているが、美幌町としての受け止めは。

答 本プランは、国民健康保険における地域間の格差の是正と制度の持続可能性の確保を目的として、都道府県単位化による保険料水準の統一が段階的に進められ

るよう厚生労働省により策定されたものである。美幌町ではプランの趣旨を理解しながら国保制度の健全な運営に貢献できるように必要な協力を行ってまいりたい。

問 従来から、子ども均等割は古来の人头税制の名残であり、扶養されている子どもにも均等課税するもので、急速な少子化時代に逆行する税制として廃止すべきものと提起してきた。美幌町として子ども均等割は廃止する意思表明を行うべきでは。

答 子ども均等割は加入者全員に均一に課税される保険料の一部であり、財源の確保に不可欠な役割を果たしているため、廃止の是非、賛否を判断することは大変難しい状況にある。しかし、子どもを持つ世帯への負担軽減や少子化対策の観点から現行制度の拡充等、引き続き町村会を通じて要望を行ってまいりたい。

問 全道的に廃止を本化が予定されている中、収入のない子どもにも均等課税する均等割は廃止する方向で一本化を図るべ

きでは。

答 国や他の自治体と連携して進めていく必要があるが、また、町独自での判断は難しく、慎重な議論が必要と考えている。今後も全道的な議論には積極的に参加していく考えである。

峠の湯びほろ

経営改善策は



問 峠の湯びほろの経営状況は安定軌道に乗っているとは言

い難く、「存続」との町民合意が形成されているとは言えない状況にあるが、経営改善策は。

答 本年度の改修によりテント泊スペースを拡大するとともに、通年利用が可能

となり利用者の増加が期待できることから、引き続き指定管理者と協力のうえ環境整備や飲食部門における新メニューの開発等、企業努力も促し収支改善に努めたい。

問 利用促進について、これまでもドッグラン設置、公共交通網の整備等、議会内でも議論があったところ。さらなる利用促進策を全町民的に集約すべきでは。

答 福祉施策とあわせて週1回の無料送迎バスの運行や障がい者と要介護者を対象とした入浴料の半額助成等を実施している。町民の皆さまの声を聴き、費用対効果も勘案して利用促進策を検討したい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードから
アクセスできます



◆稲垣 淳一 議員
いな かの じゅんいち

街路樹景觀

問 イチヨウは本来の樹形を保つ方法を考えるのか
伐採して新たな植樹を考えるのか

答 植え替え及び一部伐採を検討しているが
路線全体の植え替えは現在予定していない

問 町道における街路樹、特にイチヨウの剪定はどのような理由で幹だけを残すという強い剪定をしているのか。樹形を無視した「ブツ切り剪定」が町の至る所で見られる。第6期美幌町総合計画基本計画後期「4・4住みやすく美しい市街地機能の向上」では「地域や各団体の理解と協力を頂きながら、景観形成と保全

を図るため、環境美化の向上に取り組み、景観に対する意識を高めることで、郷土愛のある美幌ならではのグランドデザインの形成を目指します」とあるが、この考えはどこまで進んでいるのか。

街路樹の役割として道路の景観をよくすることはもちろん、道路環境の保全（日陰を作る・排気ガスや騒音を和らげる）、交通の補助（車と歩行者の分離によりスムーズな交通を確保する）、防災に役立つ（火災の延焼防止・地震の際の建物の倒壊を防ぐ）等のメ



リットが挙げられる。一方で「落ち葉問題」はデメリットとして住民から多く声が上がっていることも承知している。樹形を無視した「ブツ切り剪定」を行い、町の景観の1つとして存続していくのか、本来の樹形を保った街路樹として生かしていくための方法を考えるのか、あるいは、伐採して新たな植樹を考えるのか。

答 街路樹は景観ばかりでなく、交通安全や防災などの重要な都市機能を果たしており、町ではこれまで街路整備や町道の改良工事にあわせて街路樹を整備してきたところ。一方で、樹木の成長に伴う交通障害や落ち葉の問題があり、剪定や伐採についての苦情や要望が数多く、ある自治会からは街路樹撤去の要望を受けていることから、景観と支障木解消のバランスが大きな課題となっている。剪定作業を実施するにあたっては、直接行う維持管理担当及び作業員に対し、平成27年度から剪定作業の経験が豊富な方の指導を受けながら実施しているが、イチヨウ

は落葉の苦情が多いこともあり、現状の剪定になっている。街路樹の植え替えは樹木の成長度合いや地域住民からの要望等を考慮しながら、令和2年度には学園通西側の一部において実施し、本年度は栄通の一部において、植え替え及び一部伐採を検討しているが、路線全体の植え替えは現在予定していない。今後は、道路を往来する住民の安全確保を基本に、老木化や病害などの影響を受けている既存の街路樹の更新を検討するとともに、環境美化・景観形成に配慮した街路樹が維持されるよう、地域のご理解を頂きながら取り組みたい。

総務福祉常任委員会

認知症対策、障がい者雇用、子育て支援施策を調査

子育て支援施策を調査

総務福祉常任委員会（松浦・藤原・大原・大江上杉・馬場・伊藤）は5月19日から23日に道外先進事例を視察調査しました。

■認知症予防対策

（鳥取県伯耆町）

鳥取県の高齢化が全国平均より10年早く進んでいることから、平成28年より鳥取大学、鳥取県、伯耆町による認知症予防研究・開発普及協議会を設立し、県独自のプログラム開発に伯耆町がモデル事業として協力し、具体的なプログラム・実践方法の提案を行っています。タッチパネルによる簡易スクリーニング検査の導入やもの忘れ検診相談会によって自分にあった場所を探し出しやすい取組を行っています。



鳥取県伯耆町

■障がい者雇用

（岡山県総社市）

総社市では「あなたにとつて一番やさしいまちそうじゃ」を実現するため「障がい者千人雇用」を始めた。ハローワークに職員を派遣し外国人への就労支援、障がい者への適正配置就労支援、障がい者千人雇用推進条例の制定、社会福祉協議会に委託しての障がい者の就業・生活等に対する支援、障がいのある

方と企業等とのマッチングの実働部隊として「障がい者千人雇用センター」の設置等、障がいを持つ家族が安心して暮らせる事業に取り組んでいます。



岡山県総社市

■子育て支援

（岡山県美咲町）

「こどもの笑顔はみんなの幸せ」くみさキッズは、希望のたまご。子本主義 美咲町くみさキッズフレーズに、町独自施策として結婚定住促進祝金、新婚向け家賃補助制度、新築木造住宅普及促進事業、「黄福タクシー」の利用助成、こうのとりのり事業、はぐくみ事業、育児支援手当、保育料免除、水道基本料金助成、子ども医療費給付等に取り組んでいます。



岡山県美咲町

■子育て支援

（岡山県和気町）

妊娠から出産、就学に至る手続き・支援をワンストップでサポートし「誰ひとりとりこぼさず抜け落ちることのない支援」を目的に「子ども・家庭・地域の子育ての総合支援窓口」として「こどもまんなか支援室」が作られ、子育て支援に取り組んでいます。



岡山県和気町

視察先の事例を参考に、福祉政策・町の子育て支援に意見反映できると取り組みます。

議員カフェを初めて開催しました

6月28日(金)は役場3階町民ギャラリー、29日(土)はしゃきっとプラザ1階集団健診ホールにおいて、町民の皆さまと議員がコーヒーやお茶を飲みながら気軽におしゃべりできる場として議員カフェを開催し、親子でのご参加を含めてのべ14名の方にお越しいただきました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。内容の一部をご紹介します。

- 美幌町で生活することで得られる豊かさをもっと発信するべき
- 美幌町を何とかしたいという気持ちが必要である
- 全員協議会や委員会の主な案件をホームページで事前周知してほしい



経済教育常任委員会

外国人労働者の受入れと多文化共生、 廃校利用等を調査

経済教育常任委員会（稲垣・木村・吉住・高橋・横山・宮崎及び戸澤議長）は5月27日から30日に道内先進事例を視察調査しました。

■外国人労働者受入れ と多文化共生（帯広市）

JICA帯広センターは、道東地域と発展途上国の共創と還流の両輪を担い、国際協力により地域の課題解決につなげ地方創生に貢献する仕組みづくりを行っています。多文化共生も関係機関との連携を図りながら、外国人材の理解を求める事業を展開しています。



帯広市

■廃校利用（ナチュの森）（白老町）

化粧品製造販売「ナチュラルサイエンス」は、2013年に廃校した旧虎杖浜中学校の敷地と2階建て校舎を2014年に白老町から購入し、リノベーションして「森の工舎」として利用されています。実際に使われている廃品も活用されています。



白老町

■廃校利用（雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス）（栗山町）

栗山町では、町民有志で雨煙別小学校の活用を検討していたところ、偶然栗山町と関係していた関東の大学関係者が視察し、コカ・コーラ財団から1億8千万円の寄附等を受けて、環境教育を行う宿泊可能体験施設として平成22年にオープンしました。「コカ・コーラ教育・環境財団＋栗山町＋NPO法人雨煙別学校」が新しい強みを活かし、ふるさと教育に力を入れて取り組んでいます。



栗山町

■図書館運営（札幌市）

札幌市図書・情報館は、劇場やアートセンタールとの複合施設（札幌市民交流プラザ）であるため、書籍の配置も劇場やアートセンターの付近に関連する図書が置かれています。立地が商業施設やオフィスが密集し、多くの働く人々やビジネス・観光で訪れる人が多いエリアであり、その地域性を生かして大人を対象に「札幌の魅力と街の情報」「ビジネスに役立つ情報」を提供する課題解決型図書館として運営されています。



札幌市

視察先の事例をもとに、町の政策に意見反映できるように取り組んでいます。

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所と氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

9月定例会は**9月10日(火)**頃から開かれる予定です。

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

6月定例会の傍聴者は10名でした。
みなさまの傍聴をお待ちしております。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。
美幌町ホームページから「美幌町議会」をご覧ください。

QRコードから
アクセスできます



～ 全議員の政務活動費収支状況をお知らせします ～

政務活動に要する経費(使途基準)

項 目	内 容
調 査 研 究 費	調査委託費、交通費、宿泊費等
研 修 費	会費、交通費、宿泊費、会場費、機材借上費、資料印刷費等
要請陳情等活動費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
会 議 費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
資 料 作 成 費	印刷製本費、原稿料等
資 料 購 入 費	書籍購入費、新聞雑誌購読料等
広 聴 広 報 費	広報紙等印刷費、送料、交通費等
事 務 所 費	事務所の賃借料、管理運営費等
事 務 費	消耗品費、備品購入費、通信費等

美幌町では、議員一人当たり月額2万円の政務活動費が交付されています。議員活動をするうえで、必要な経費の一部として交付するもので、使途は資料購入費や広聴広報費などさまざまです。各議員から令和5年度政務活動費収支報告がありましたので、お知らせします。

令和5年度 政務活動費収支報告

令和5年度 政務活動費 使途別集計表

(単位:円)

交付番号 区分	第 1 号	第 2 号	第 3 号	第 4 号	第 5 号	第 6 号	第 7 号	第 8 号	第 9 号	第 10 号	第 11 号	第 12 号	第 13 号	一	合 計	構 成 比
	木村利昭	宮崎奈津江	藤原公一	伊藤伸司	松浦和浩	稲垣淳一	戸澤義典	横山清美	馬場博美	吉住博幸	高橋秀明	上杉晃央	大江道男	大原 昇		
1 調 査 研 究 費	41,706			10,906	32,856	33,940		30,840	54,509		54,140			—	258,897	9.8%
2 研 修 費	50,985	137,690	25,000	54,940						118,603	163,558			—	550,776	20.9%
3 要 請 陳 情 等 活 動 費														—	0	0.0%
4 会 議 費														—	0	0.0%
5 資 料 作 成 費														—	0	0.0%
6 資 料 購 入 費		70,496	153,991	76,461	55,550	123,359	84,952	69,941	67,611	2,200	9,141	39,141	37,400	—	790,243	30.1%
7 広 聴 広 報 費	72,606	48,143		42,366				45,143	42,368			189,658	287,810	—	728,094	27.7%
8 事 務 所 費					44,245			110,000						—	154,245	5.9%
9 事 務 費		1,869	23,548		25,071	9,482	22,549		10,632	48,272		6,049		—	147,472	5.6%
収 支 報 告 分 計	165,297	258,198	202,539	184,673	157,722	166,781	107,501	255,924	175,120	169,075	226,839	234,848	325,210	—	2,629,727	100.0%
返 還 金	54,703	0	17,461	35,327	62,278	53,219	112,499	0	44,880	50,925	0	0	0	—	431,292	
交付決定額(A)	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	—	2,860,000	
交付確定額(B)	165,297	220,000	202,539	184,673	157,722	166,781	107,501	220,000	175,120	169,075	220,000	220,000	220,000	—	2,428,708	
執行率(B÷A)	75.1%	100.0%	92.1%	83.9%	71.7%	75.8%	48.9%	100.0%	79.6%	76.9%	100.0%	100.0%	100.0%	—	84.9%	

注:政務活動費の交付を受けていない議員の各欄は「—」と表示

議会運営委員会

委員長	上 杉 晃 央
副委員長	伊 藤 伸 司
委員	馬 場 博 美
委員	横 山 清 美
委員	藤 原 公 一
委員	松 浦 和 浩

▼ 今回の定例会はいつもの日程とは異なり開催されました。傍聴を希望されていた皆さまには日程が変わり申し訳ありませんでした。

▼ 新型コロナウイルスの感染者が増えつつあります。体調管理に十分留意してください。

▼ 埋立処分場の造成工事が始まります。現状の埋立地を少しでも長く使っていくためにも分別をきちんとしましょう。

▼ トレーニングセンターの改修が始まります。工事期間中はご不便をおかけしますがご理解願います。

▼ 全国で大雨が多発しております。災害の少ない美幌町ですが、いざというときのための備えをしましょう。

▼ 6月末に議員と町民の垣根を低くしたいとの思いから初の議員カフェを開催し、ご意見、ご要望など様々お受けいたしました。これからも、議員は何をしようにかわからないと言われないように一同頑張つてまいります。

(公二)

あとがき